



慶應義塾大学「論理と感性の先端的教育研究拠点」

平成23年度若手研究成果報告会

本グローバルCOEの研究主題として掲げる【論理と感性】の先端的研究を行う、若手研究者24名が、脳と進化、遺伝と発達、言語と認知、哲学・文化人類学、論理・哲学など、平成23年度の研究成果を発表致します。

日時：2011年2月8日(水) 10:00～17:00, 9日(木) 13:00～17:30

場所：三田キャンパス東館4階セミナー室

2月8日(水) 発表者・演題

2月9日(木) 発表者・演題

渡辺 茂 先生 10:00～10:05

開会挨拶

伊澤 栄一 10:10～10:40

カラスの序列社会と脳

山崎 由美子 10:40～11:10

Reversal learning and generalization in the common marmosets (Callithrix jacchus).

一方井 祐子 11:10～11:30

セキセイインコにおける第三者との闘争後親和交渉

近藤 紀子 11:30～11:50

ハシブトガラスにおける音声と視覚を統合した個体認知の検証

柴田 みどり 11:50～12:10

ユーモア理解に關与する神経基盤の検討 -fMRI study-

染谷 芳明 13:10～13:40

骨格筋運動負荷後の脳機能画像研究

四本 裕子、柴原明栄子 13:40～14:10

人間の視覚情報処理過程の検証

田谷 文彦 14:10～14:40

認知のおよび感情的フィードバックの処理に關わる神経機構の解明

増田 早哉子 14:40～15:10

未

寺澤 悠理 15:10～15:30

内受容意識と感情の認識

秋吉 亮太 15:50～16:20

形式主義の再検討に向けて

村井 忠康 16:20～16:40

カントと概念主義

鈴木 康則 16:40～17:00

神と動物 - デリダの神学的動物論

皆川 泰代 13:00～13:30

慶應大学GCOE赤ちゃんラボにおける研究概要報告(3)

太田 真理子 13:30～13:50

新生児の感性と論理：心拍と脳機能の計測から見えてきたこと

尾島 司郎 13:50～14:20

Mother-tongue and arithmetic processing in foreign-language learners

日根 恭子 14:20～14:40

再認における処理の持ち越し効果の検討

桃生 朋子 14:40～15:00

第二言語獲得者による定名詞句・不定名詞句の区別の仕方

Mohácsi Gergely 15:20～15:50

治 = 験 「もの」と通じて論理と感性を考える

照山 絢子 15:50～16:10

Between care and cure: ethnographic observations of ry iku programs for children with developmental disabilities

三宅 博子 16:10～16:30

音楽療法における音楽創出の過程とその意味

山根 千明 16:30～16:50

「結合メディア」としての触覚
- - 1920年代ドイツを中心に

佐藤 康太 16:50～17:10

テレマンの出版活動に関する一考察
彫版スタイルによる出版年代再考の試み

渡辺 茂 先生 17:10～17:15

講評

杉浦 章介 先生 17:15～17:20

講評・閉会挨拶

お問合せ：慶應義塾大学グローバルCOEプログラム
「論理と感性の先端的教育研究拠点」事務局
<http://www.carls.keio.ac.jp/>